

# 令和7年度第1回環境スキルアップ講座 結果報告

## 1 講座内容と結果概要

本講座は主に環境学習リーダー養成講座を修了した方を対象として、環境の最新の社会動向や情報を提供し、皆様の実践活動を支援するために、開催しています。

### (1)タイトル・内容・講師

タイトル：プラスチック大気汚染の現状と健康・環境リスク

講 師： 早稲田大学 創造理工学部 教授 大河内 博氏

内 容： 大量生産・大量廃棄されたプラスチックは自然環境中で劣化・破碎され、海洋だけでなく大気にも広く拡散しています。大気中マイクロプラスチック(AMPs)は肉眼では見えず、呼吸を通じて体内に取り込まれるおそれがあり、摂取経路として重要視されています。さらに、AMPs は地球表層を循環し、生態系や気候へ悪影響を及ぼす可能性もあります。本講演では、AMPs の実態とその健康リスクと気候影響について紹介します。 (講師より)

### (2)開催日時・方法

①Zoom ウェビナーによるオンライン配信 令和7年9月30日(火曜日) 14時～16時

②学習管理システムによるオンデマンド配信 令和7年10月10日～10月31日

### (3)参加人数

①Zoom ウェビナーの受講者 46名

②学習管理システムの受講者 40名

### (4)感想等

受講者からのご意見・ご感想をいただきましたので、一部を抜粋して紹介します。

●海洋プラスチックについては、様々な情報がありますが大気中にまでプラスチック汚染が広がっているという認識が無かったので、大変勉強になりました。

また、汚染されている場所だけでなく、季節変動や気象変動により、世界規模の汚染・攪拌・拡大につながるということも深刻な問題であると感じました。

●気づかないうちに体内摂取している、という事実が恐ろしいです。

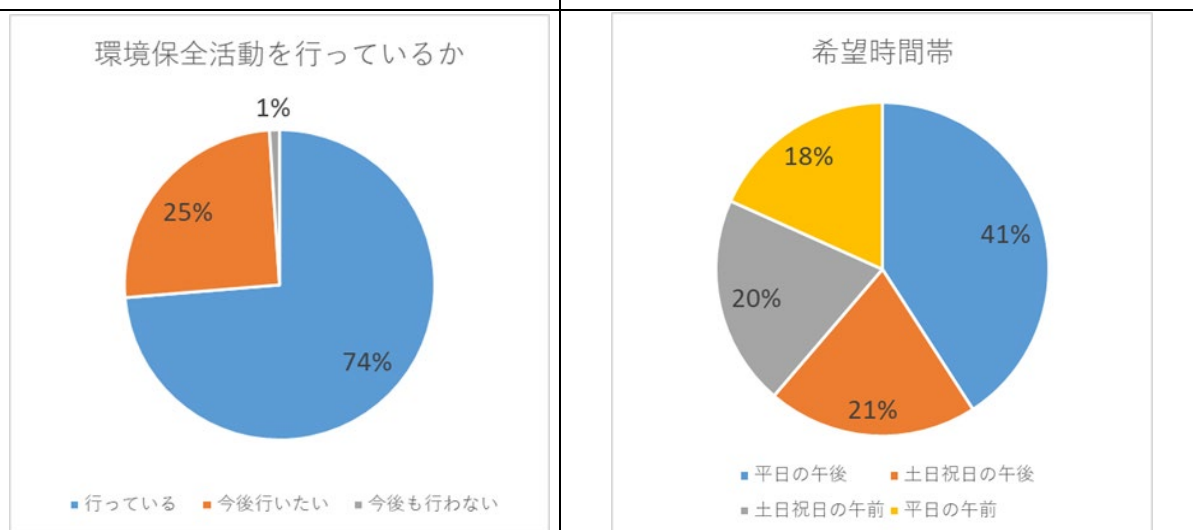
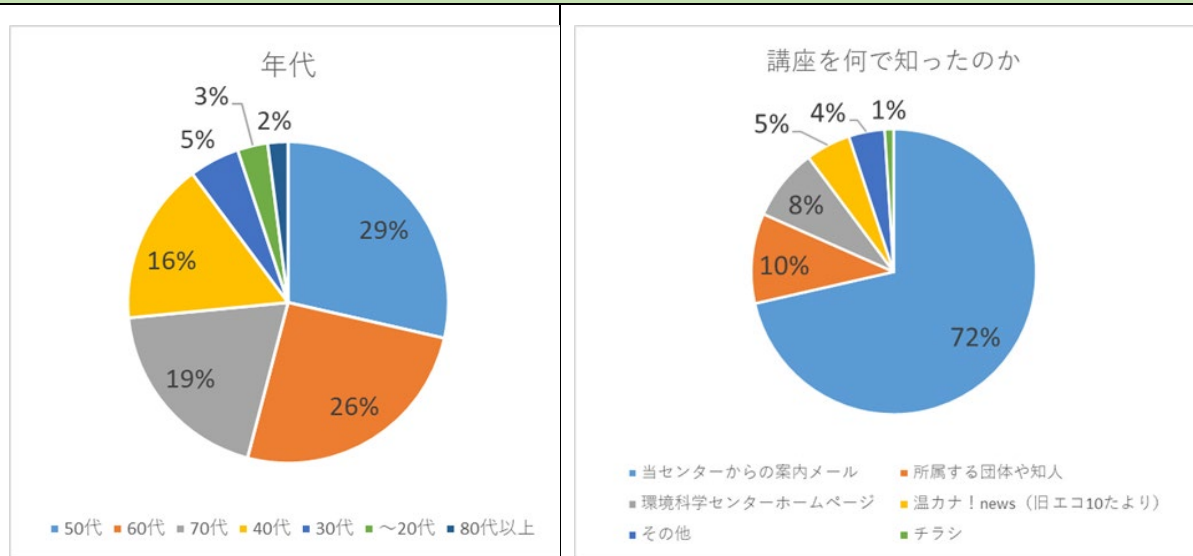
また、講義でも話のあった光劣化したプランターが自宅にあります。

MPを環境中に排出しないために何ができるか考えるきっかけになりました。

●マイクロプラスチックが脳や肺に入り込んでいることなどがわかり恐ろしくなりました。プラスチックを使わないのは非常に難しいことですが、できるだけ使わないようにしなければならぬと強く思いました。

## 2 アンケート結果

### 受講申し込み時のアンケート結果(受講者の属性)



### 講座終了時のアンケート結果(講座の評価や希望)

